

教育委員会だより

重要文化財上國寺本堂保存修理工事速報 枳葺きの屋根完成しました



枳葺きに仕上がった上國寺本堂の屋根

青森県弘前市から来ている漆職人の今照芳さんは、これまで津軽塗の新しい作品を中心に活動していましたが、今回の仕事では「古いものの価値を残すところにやりがいを感じる。」と話していました。



ていねいに漆を塗る今さん

現在、保存修理工事中の重要文化財上國寺本堂では、屋根の枳葺きが終わり、10月末の完成に向けて急ピッチで作業が行われております。

上國寺本堂は、重要文化財に指定されているので修理工事に際して、特殊な専門技術を持っている職人が作業しています。

今回は、そのような工事に携わる職人の皆さんをほんの少しですがご紹介したいと思います。



材料を切断する加藤大工

大工の加藤和紀さん（エサシ建材）は「お寺と民家では屋根の構造が全然違うため、屋根の復元に大変苦労した。」と話していました。

岡山県岡山市から来ている屋根職人の沼澤修一さん、永原光敬さん（児島工務店）は、屋根の枳葺きについて1日で約100枚、面積にして約1坪

（3・24㎡）の範囲を葺くそうです。また、作業に際しては「枳葺きの端をそろえて葺くことに気をつけている。」と話していました。



竹の釘を使った枳葺き作業

最後に、今回作業中にもかかわらず、取材に協力していただいた職人の皆さんどうもありがとうございました。

夷王山まつりでは見学も

今年度も教育委員会では夷王山まつりにあわせ、「夷王山ウォークラリー」、「ゆっくりウォッチング」、「歴史探訪」の3つのコースを用意しております。

その中の「歴史探訪」では、上國寺本堂の修理工事の様子も見学できますので、皆さんの多数のご参加をお待ちしております。（夷王山まつりに関する詳細は本誌裏表紙をご覧ください。）

上ノ国町を知ってください 転入教職員町内視察研修

4月28日（木）、上ノ国町での勤務が初めての教職員を対象とした転入教職員町内視察研修が行われました。この研修は文化財や産業施設等の見学を通して本町を知ってもらい、視野を広げてもらうとともに、今後の教育実践における教材として活用してもらうことを目的としています。写真は上ノ国町栽培漁業センターと旧笹浪家住宅見学の模様です。

ニシンの稚魚はどこにいるのかな？

上ノ国町栽培漁業センターではアワビ、ナマコを養殖しており、今年4月からはニシンの養殖も行っています。上ノ国町でとれたニシンの卵を人工授精して栽培しており、今回見学したときは、ふ化して1週間ほどの稚魚で、現在3万5千匹を栽培しています。ニシンの稚魚は目を凝らさなければ見えないほど小さく先生方は生け簀に顔をよせ

てニシンを観察していましたが、7月に海へ放流する予定となっています。



ニシンの稚魚を見学する皆さん

また、旧笹浪家住宅ではイロリや土間など今となっては懐かしい昔の生活に触れ、往時のたたずまいを感じていました。



昔の生活を肌で感じていました

町内小・中学校の児童、生徒はふるさと学習として文化財などを見学し、その成果を発表会や新聞づくりなどをして自分の町のことを学習しています。今回の研修をその授業づくりの参考としていただきたいと思います。